

第11回佐久市医療体制等連絡懇話会 会議録

日 時：平成28年2月2日（火）午後7時より

場 所：佐久市保健センター 2階

参加者

社団法人佐久医師会 会長 多田 博行
社団法人佐久医師会 副会長 小松 正彦
社団法人佐久医師会 総務理事 岡田 稔
長野県 健康福祉部医療推進課企画幹兼課長補佐 熊谷 健吉
長野県 佐久保健福祉事務所 所長 小林 良清
長野県厚生農業協同組合連合会 企画管理部長 黒沢 英明
長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 統括院長 伊澤 敏
長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 統括副院長 西澤 延宏
長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 副院長 朔 哲洋
長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 統括事務長 飯島 秀人
長野県厚生農業協同組合連合会佐久医療センター 院長 渡辺 仁
長野県厚生農業協同組合連合会佐久医療センター 事務長 小林 睦志
佐久市立国保浅間総合病院 病院事業管理者 院長 村島 隆太郎
佐久市立国保浅間総合病院 地域医療部 部長 仲 元司
佐久市立国保浅間総合病院 事務長 小林 一好
学識経験者（規約第5条（4））くろさわ病院 院長 黒澤 一也
学識経験者（規約第5条（4））佐久穂町立千曲病院 院長 小林 正明
佐久市 副市長 小池 茂見

事務局

佐久市 市民健康部 部長 比田井 和男
佐久市 市民健康部 健康づくり推進課 課長 工藤 絹子
佐久市 市民健康部 健康づくり推進課 地域医療係 係長 渡辺 孝治
佐久市 市民健康部 健康づくり推進課 地域医療係 主事 茂原 健志

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>事務局 (佐久市 比田井部長)</p> | <p>本日は、第11回佐久市医療体制等連絡懇話会開催にあたり、ご案内を申し上げましたところ、公私とも大変お忙しい中、皆様のご参集を賜り、深く感謝申し上げます。</p> <p>私、佐久市市民健康部長の比田井和男と申します。議事に入りますまでの間、進行を務めさせていただきますので、宜しくお願い致します。</p> <p>それでは、これより第11回佐久市医療体制等連絡懇話会を開催させていただきます。始めに会長挨拶でございます。多田会長より、ご挨拶をお願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>本日は大変お忙しい中、ご出席を頂きまして心より感謝申し上げます。今回は佐久市医療体制等連絡懇話会規約第4(2)の規定により、会長は佐久医師会会長を以て充てるとされております。従いまして、佐久医師会長の私が本会の会長を務めさせていただきます。尚、本日の懇話会には規約第5(4)の規定により、見識者として、くろさわ病院院長：黒澤先生と千曲病院院長：小林先生にご参加を頂きましたのでご承知おき下さい。</p> <p>それでは、本日の懇話会でございますが、次の5点の起案についてご協議を頂くものでございます。</p> <ol style="list-style-type: none">1点目「佐久医療センター開院後の診療状況について」です。2点目「地域医療支援病院承認までの経過と状況について」です。3点目「佐久総合病院本院再構築の状況について」です。4点目「佐久市の医療提供体制に関するアンケート調査について」です。5点目はその他として、「佐久市医療体制等連絡懇話会の在り方について」です。 <p>本日は、以上の5点につきましてのご協議をお願い致します。最後に、皆様には忌憚のないご意見を頂き、医療連携の充実と地域医療の一層の安定化を図って参りたいと考えておりますのでご協力をお願い申し上げます。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 比田井部長)</p> | <p>有難うございました。続きまして、委員さんが属する組織の人事異動により、本日、本会に初めてご出席される委員さんがいらっしゃいますので、私の方からご紹介を申し上げます。大変恐縮ではございますが、私がお名前を申し上げますので、その場でご起立をお願い致します。</p> <p>一般社団法人佐久医師会副会長：小松正彦様 長野県厚生農業協同組合連合会企画管理部長：黒澤英明様</p> <p>有難うございました。以上でございます。</p> |

続きまして、本会規約第5（4）に基づき、「会長の求めに応じ、ご意見をいただくため」のご出席いただいた方をご紹介申し上げます。お名前をお呼び致しますので、その場でご起立をお願い致します。

くろさわ病院院長 黒澤一也様

佐久穂町立千曲病院院長 小林正明様

有難うございました。以上でございます。

それでは議事に移らせて頂きますが、その前にお手元に配布をさせて頂きました資料の確認をさせて頂きますので、ご点検をお願い出来ればと思います。

まず、「会議次第」「参加者名簿」「席次表」そして、それぞれホチキスで留めてあります資料の1枚目の右肩にあります、「資料1-1 佐久医療センター平成27年度地域別患者数資料」「資料2-1 地域医療支援病院承認書」「資料3-1 佐久総合病院本院平成27年度地域別患者数資料」「資料3-5 佐久総合病院増改築第2期工事の平成27年度進捗状況」「資料4-1 佐久市内医療提供体制に関するアンケート調査報告書及び前回比較書」「資料4-2 記入項目別集計表」、「資料5-1 佐久市医療体制等連絡懇話会規約」以上の7種類となっておりますが、揃っておりますでしょうか。

それでは、これより議事に移らせて頂きます。

議事の進行にあたりましては、連絡懇話会規約 第5（2）において「懇話会の議長は会長が当たる」となっております。

以降、審議の進行については、多田会長、お願いを致します。

佐久医師会
多田会長

規約により議長を務めさせて頂きますので、宜しく願い申し上げます。

それでは、議事、（1）の会議録署名人の指名につきましては、当懇話会規約の第3、組織にあります、各号の若い順から、それぞれ1名ずつ、2名を議長の私の方から指名するという事で宜しいでしょうか。

ご意見がございませんので、ご了承頂いたものとさせて頂きます。

それでは、本日第11回目の懇話会の会議録署名人を、一般社団法人佐久医師会副会長の小松正彦委員と、長野県健康福祉部の熊谷健吉委員をお願い致します。

それでは、議案に移ります。

議案①「佐久医療センター開院後の状況と課題について」でございます。

まず、ア、「佐久医療センターにおける診療状況」について、佐久総合病院からご説明をお願いします。

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>佐久医療 センター 小林事務長</p> | <p>佐久医療センター事務長の小林でございます。宜しくお願ひ致します。</p> <p>それでは、お手元の「資料1-1」から「資料1-4」についてご説明を申し上げます。</p> <p>佐久医療センターの現況報告と言う事でございますが、まず、「資料1-1」佐久医療センターの外来と入院につきまして、地域別の患者について資料を作成しています。上段が外来について、下段が入院についてと言う事です。</p> <p>資料の比較につきましては、平成26年度、開設1年目の12か月で、本年度、平成27年度は12月末迄の9か月間となりますが、対比にしてありますので、ご確認をお願い致します。</p> <p>外来につきまして、平成26年度、佐久市741,536人と言う所から始まり、総計平成26年度1年間で、176,179人と言う数でした。</p> <p>それに対し、今年度の状況は、佐久市59,111人から始まり、12月末迄の9か月間では、144,310人と言う状況です。</p> <p>期間別でそれぞれの一日平均は、平成26年度が653人に対して、今年度は714人とプラス61人でした。</p> <p>一日あたり61人増えていると言う事で、それを積み上げ棒グラフにしたものが、右の表です。</p> <p>左側が平成26年度、右側が平成27年度12月末と言う事で、市町村別、或いは分布別では、そう大きくは変わっていないと言う所が見て取れるかと思ひます。</p> <p>特に地元につきましては、佐久市と南佐久を足しますと、平成26年度は51.8%、平成27年度は50.7%が地元の利用率になっていると言う事です。</p> <p>入院につきましては、同じく平成26年度、佐久市53,255人から始まり、総計平成26年度は年間で148,906人と言う事でした。</p> <p>同じく、平成27年度の対比では、佐久市42,321人から12月末迄で110,187人と言う利用状況です。</p> <p>平均在院日数につきましては平成26年度1年間で、11.4日、平成27年度は12月末迄の9か月間で10.8日と、0.6日ほど短くなっています。</p> <p>また、病床利用率については、平成26年度は86.7%、平成27年度が84.3%で推移をしております。</p> <p>右側のグラフにつきましては、外来と同じ作りとなっております。同じく佐久市・南佐久を足した人数で比較をしますと、平成26年度が46.2%、同じ比較で、平成27年度では50.2%、の積上げになりますので、入院については若干地元が増えた様子が見て取れると思ひます。</p> <p>「資料1-2」については、それぞれ指標として見出しをしております。</p> <p>1枚目については、外来についてと言う事で、大きくは「外来の収入」「外来</p> |
|--------------------------------|---|

の単価」「外来の述べ患者数」「外来の一日平均患者数」と言う事でお示しをしています。

外来診察につきましては、月平均で3億5千万円を上下しており、外来患者数も増えている事から、4月の昨年対比以降、各月において昨年を上回る収入で推移をしています。外来単価についてですが、直近12月の所で見ますと、当年度20,441円で、昨年が20,547円となっています。外来患者数の12月直近では、単月で17,175人の患者さんが来院されていると言う事で、同じく割りかけてみますと、12月は単月で、一日の平均外来患者数は747人となっています。

続きまして、「資料1-3」同じ指標と言う事で入院についてお示しをしています。同様に、「入院の収入」「入院の単価」「入院の患者数」「新入院」です。入院につきましては、平成27年度、単月月収的には、10億円を前後する様な収入で、直近12月では、9億9千6百73万1千円とで推移をしています。入院単価について、平成27年度は、8万円という大台に乗った月もあり、7月は80,027円、12月では80,104円の入院単価となっています。入院述べ患者数については、12月直近単月の、ひと月で12,259人の患者さんが入院されました。特に、新入院の昨年比は順調に伸びて、月平均1,000~1,100と推移し、直近12月では、ひと月で10,017名の新規入院患者さんが来院されました。

続きまして、「資料1-4」について、「平均在院日数の月別」「手術件数の月別」「救急搬送の月別」と言う事でお示しをしています。

平均在院日数が、全体的には0.6日ほど短くなったと言う事ですが、直近12月対比として、昨年は11.2日、今年が10.2日で、対比が出来る所の直近では、一日短くなったと言う事です。手術件数につきましても、直近12月では単月で412件の手術を行いました。若干5月、9月は大型連休が入った関係で少し件数は落ちておりますが、順調に伸びています。

救急車搬送ですが、直近12月の単月で266件の受入れを致しました。

以上、直近の佐久医療センターの現況について、ご説明を申し上げます。

宜しくお願い致します。

佐久医師会
多田会長

有難うございました。ただ今のご説明につきまして、ご意見・ご質問をお受け致します。

ご意見が無い様ですので、次にイ.の他の医療機関からの意見について順番にお話しをお伺いしたいと思います。

まず、浅間総合病院院長村島先生お願いします。

| | |
|------------------------|--|
| <p>浅間総合病院 村島院長</p> | <p>順調にきていると言う事が分かります。ベッド数もやり繰りをされて大変な状況となっているのかと思われまますので、浅間総合病院も努力して何とか受入をして行きたいと考えております。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。 次に、浅間総合病院地域医療部長仲先生お願い致します。</p> |
| <p>浅間総合病院 仲部長</p> | <p>いつもお世話になっております。その事に関しては、特にごたごたはないのですが、自分の当直の時や、レントゲン等の時、或いは連携室との話しだと、現場で、どうして浅間は取ってくれないのか、そう言う所はどうしても医療センターの方からありますし、こちらも例えば救急車で循環器だったらなるべく取って欲しい所を、と言う様な微妙な所も、現場ではあると思います。その辺について、なるべく現場に近い所で、現場の人間同士が話し合いをすれば解決するのではないかと思います。良い様にお互い応援をしていければと言う所で、これからも宜しく願いしたいと思ひます。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。それでは、見識者として、くろさわ病院院長黒澤先生、何かございますか。</p> |
| <p>くろさわ病院 黒澤院長</p> | <p>いつもお世話になっている立場ではありますが、データを見させて頂くと、病床稼働率がそこそこで、いずれにしても、短くなっていると言う事は、非常に急性期の病院として良くやっっているらっしゃると思ひます。我々も仮の受け皿として、病床数が少ない為、中々難しくはありますが、特に冬の時期は非常に混み合っていると言う事ですので、当院では整形外科の患者さんで早く帰せる方は、出来るだけ早く帰して、今は数所、空いている様な状況でもあります。我々が受けられる様な救急や、場合によっては、転院等も受けて、役割を果たして行きたいと思ひています。これからも宜しく願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。続きまして、千曲病院院長小林先生お願い致します。</p> |
| <p>千曲病院 小林院長</p> | <p>確かに、忙しい事が分かる図表だと思ひます。大体の南佐久、私どもの病院の患者さんも受けて頂いており、治療が終わるなどすると、再度、帰して頂くと言う様な事で、上手く回っているような気が致します。ただ、科によって、取ってくれない科が幾つかあるので、その点を改善して頂ければと思ひます。</p> |

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。それでは、佐久医師会の方から副会長の小松先生、宜しくお願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 小松副会長</p> | <p>医療センターの開院後、2年が経過して非常に三次救急並びに専門医療に特化して頂いて、慣用的に見れば、非常に佐久地域の機能分化が進んで有難いと思います。あとは、佐久病院本院の再構築の方も大いに期待をしておりますので、これからも宜しくお願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。それでは、総務理事の岡田先生、宜しくお願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 岡田総務理事</p> | <p>いつもお世話になっております。一つ感じる事はまだ、医療センター内部で上から下への色々な事が出来ていないような感じが致します。この間も土曜日に電話をして連携室に繋いで頂ける様、お願いをしたのですが、「連携室は本日、休みで開いていない」と言う様な事もありましたし、つい最近は、医療センターに雇っている患者さんで連携室に電話をしたら断られて、仕舞いには、小諸厚生病院から紹介されたのだから小諸厚生病院に連絡する様に言われた患者さんもいまして、まだまだ内部で上手く共有が十分できていない感じがしますので宜しくお願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。ただ今のご説明につきまして佐久病院の方から何かご意見・ご質問等がありますか、宜しくお願いしたいと思います。</p> |
| <p>佐久医療 センター 渡辺院長</p> | <p>院長の渡辺でございます。色々のご意見を有難うございました。 私達もまだ不十分な所がありまして、内部の中でも統制が取れていない所や、科によって少し受入がしにくい所があるかと思えます。その点につきましては、持ち帰りまして、その辺の所を十分対応をして行きたいと思っています。 また、先生方のご意見を聞かせて頂いて、対応させて頂きたいと思っています。今後とも色々宜しくお願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。他にどうでしょうか。今の質疑・応答に関して如何でしょうか。佐久保健福祉事務所長の小林所長何かありますでしょうか。</p> |
| <p>佐久保健福祉 事務所 小林所長</p> | <p>色々データ等、有難うございます。一つは県外から外来が4%、或いは入院は5%と言う事ですが、何処の県かと言うのが、もし、分かれば教えて頂きたいのが1点あります。</p> |

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>後は、医療センター全体の体制として、スタート時点で一部稼働を見合わせていたと言う様な所もあったと思いますが、今の人員やベッドの方の稼働状況を教えて頂ければと思います。</p> <p>佐久病院の方でどうでしょうか。</p> |
| <p>佐久医療 センター 渡辺院長</p> | <p>県外について実際には詳細なデータがここにはありませんが、一番多いのは群馬県北部から紹介が多いです。後は交通事故、或いは観光シーズンの旅行の患者さんと言う事で色々な所から来られると言うのがあります。</p> <p>ベッドの稼働状況につきましては、450床と言うのが一つ、病床数はあるのですが、GICUと言うジェネラルのICUの所は16床の内の10床としているので、6床は、今はまだ稼働されていません。また、ハイケアユニットの方は20床の内の14床を運用しておりますので、6床が運用されていないと言う事で、併せると12床が運用されていない状況です。その他に、NICUは6床、GCUが12床と言う事で18床につきましては、基本的には院内で起こった事に対する対応と言う事ですので、合計しますと30床については基本的には院内対応か、まだ稼働されていないと言う事です。救急病床は、20床と言う事で、併せると420床がフルの回転であると言う風に現在は行っております。幸いEICUというEmergencyのICUが8床と救急病棟の12床、これが実際には現時点ではフルに活用されていると言う所がありまして、如何に昼間の間に救急の病床を空けて救急患者さんを受入れられる様にするのかと言う所と、現時点では、その予定の入院患者さんとのバランスを取りながら病床を回しているのが現状です。今週の入院予定の方が大体120人、先週は140人位と、少し増えてきております。その中で、如何に救急の病床を充てながら、救急をお受けするのかと言う所を、色々と地域の医療機関の皆様にご協力を頂きながら調整をしていると言う所で、やはり在院日数が少なくなる部分、少しでも病床が空くかと言う事で、努力させて頂いている所ではあります。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。他にございますか。</p> <p>無い様ですので、続きまして議案②「地域医療支援病院承認までの経過と状況について」でございます。それでは、佐久医療センターからご説明をお願い致します。</p> |

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>佐久医療 センター 小林事務長</p> | <p>「資料2-1」から「資料2-6」までご説明申し上げます。</p> <p>「資料2-1」につきまして、これは、実際に阿部県知事から支援病院として承認をされた写しをお付けしております。</p> <p>実際の所は、開設1年目である平成26年度1年間の諸々の実績を、平成27年3月末迄と言う所で、4月に県の方に報告、申請をした次第です。</p> <p>それを受けて、県の医療審議会の方で、慎重に審議をして頂いた結果、問題なしとして、平成27年6月16日付にて承認を受けた通知の写しを添付しております。</p> <p>続きまして「資料2-2」です。</p> <p>地域支援病院承認の要綱の中に大きな柱として、運営委員会の設置と年に4回以上の運営委員会の開催が含まれております。開設後、直ちにと言う事では厳しいと思われた為、開設と承認以前から地域医療支援病院準備委員会として2度ほど実施した経過がございます。</p> <p>前医師会長の金澤先生と言う所はございましたが、その様な経過を踏まえ、委員会の在り方、規約、或いはここに掲載をしてあります委員の方々の構成について議して頂いた経過の中で、最終的に議員の皆様方のお名前と職責を固めさせて頂いた次第です。</p> <p>そして、佐久医師会の多田先生を委員長としてお迎えをした中で、10名の職責の皆様方に委員会の任を負って頂いたと言う事です。</p> <p>また、病院と致しましては、オブザーバーと言う形で委員会の中で一緒に話し合いをさせて貰う形に頂きました。</p> <p>明日も支援病院運営委員会2度目を医療センターにて開催する予定ですが、実際にどの様な報告をするのかと言う事で、「資料2-3」を添付しています。</p> <p>この資料の括り込みについても佐久保健福祉事務所小林所長を始め、アドバイスを頂く中で、この様な形で行っていかないと固めた方向様式で、基本的には地域医療支援病院に係る大きな任務です。</p> <p>1番は「紹介率・逆紹介率」2番は「救急医療提供の実績」「共同利用の体制」「地域医療従事者の資質向上を図るための研修」「病院の管理・運営に関する諸記録の閲覧数」「運営委員会の開催実績」「患者相談の実績」と、大きくは7つの柱になると言う事です。</p> <p>1の「紹介率・逆紹介率」は、ご覧頂いた通りです。①・②・③のハードルがある訳ですが、当院は、②の紹介率65%以上かつ、逆紹介率40%以上を目指して来ております。</p> <p>直近の第三四半期10月～12月では、紹介率72.8%、逆紹介率81.7%でした。</p> <p>救急医療提供体制について、計算式があると言う中ですが、年間1,000件</p> |
|--------------------------------|---|

以上を受ける義務があります。それぞれの四半期ごとに733人～767人、直近の所では825人の受入を致しました。

また、共同利用につきましても、別添でご説明を致しますが、827件と言う事で、近隣の医師会の皆様方を始め、医療機器の共同利用を行っています。医療従事者についても別添の所でご説明申し上げますが、直近3ヶ月で11回ほど研修会を受講致しました。

閲覧者状況については、直近で1,097件と、医師を中心に閲覧をして頂いております。

委員会に関しては、先ほども申しました通り、明日2回目の運営委員会を開催する予定です。

患者相談実績は、また別添でご説明を致しますが、直近で3,158件のご相談を受けました。

また、別添資料1、「資料2-4」は共同利用の実績です。

直近10、11、12月と、月ごとにCTから始まり、検査機器ごとに件数を上げています。直近3ヶ月の全体合計では、827件のご利用を頂きました。「資料2-5」について、多少訂正があります。

【参加者数】及び、【その内来院参加者数の人数】について、直近の第三四半期と、第一・第二四半期の人数も一緒に加算された人数が資料に掲載されています。

【参加者数】3,436人を678人へ訂正。

【その内院外参加者】1,521人を393人へ訂正をお願い致します。

こちらが先ほどの報告の数字となります。

直近では、【開始日付10月10日・国立がん研究センター】から、【12月26日・環八ヶ岳クリニカルカンファレンス】まで、11回開催を致しました。特に11月4日には地域医療支援病院の認定を受けた記念講演会を開催している中で、医師会の皆様方を始め、医療センターに足を運んで頂き、勉強会並びに、交流会・懇親会等を開催致しました。

続きまして、「資料2-6」こちらは、患者相談窓口の相談実績です。対応方法・内容・分類としており、分類については延べ数としてカウントをしております。

直近の10月は、1,146件、11月は949件、12月は、1,063件と、合計を致しますと、先ほどの報告の数字である3,158件となります。地域医療支援病院につきまして、以上、ご説明を申し上げます。宜しくお願い致します。

| | |
|---------------------------|---|
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。ただ今のご説明につきまして、ご意見・ご質問をお受け致します。</p> <p>特に無い様でございますので、次に議案③「佐久総合病院本院再構築の状況について」に移りたいと思います。</p> <p>まずア。「佐久総合病院本院における診療状況」について、佐久総合病院からご説明をお願いします。</p> |
| <p>佐久総合病院 飯島統括事務長</p> | <p>佐久総合病院統括事務長の飯島でございます。宜しくお願ひ致します。</p> <p>「資料3-1」をご覧ください。先ほどの、医療センター小林事務長が説明をした資料「資料1-1～資料1-4」と同じ様な形で作成をしております。本院における地域別患者数の資料という事で、上段の方が外来です。</p> <p>平成26年度は、佐久市145,521人を始め、総計239,254人。こちらに対して平成27年度は、12月末迄で、佐久市111,168人、総計182,787人となっています。</p> <p>平均で見ますと、昨年は886人に対して905人と、1日平均19人増で2%ほど患者数が伸びています。</p> <p>右横にある積上げ棒グラフ上の佐久市と南佐久郡を合計致しますと、昨年度は、74.9%と、約75%の受診者が来院に対し、今年度も、75.2%と、外来患者数の中の佐久市・南佐久郡の合計比率は一緒になっています。</p> <p>入院患者数について、平成26年度は、佐久市が57,196人、総計が87,909人。対して、平成27年度12月末迄の段階で、佐久市が42,092人、総計が65,377人となっています。</p> <p>昨年と比較して、同じ日数での対比は出来ませんが、ほぼ昨年と同じ患者数となっています。</p> <p>平均在院日数については、昨年は15.1日、今年度は15.6日と、0.51日ほど、伸びており、0時での病床利用率におきましては、前年度、87.4%に対して、今年度は83.6%と若干下がっています。</p> <p>右横記載の積上げ棒グラフにおける、佐久市・南佐久郡の合計では、昨年度が79.5%と約8割の入院患者数に対して、平成27年度は78.9%と、こちらも約8割で、昨年と今年で入院患者数についても佐久市・南佐久郡を合計した比率は、殆ど変わっておりません。</p> <p>「資料3-2」本院の外来収入におきましても、直近の12月では2億6千56万6千円と、ほぼ、昨年と同じ外来収入で推移しています。</p> <p>外来単価におきましても、直近12月で11,887円ですが、昨年と比べましても、ほぼ同等の外来単価となっています。</p> <p>外来延べ患者数は、直近で22,005人となりました。折れ線グラフで昨年</p> |

| | |
|--------------------------------|---|
| | <p>度を示す青いマーカー部分と比較をしても、ほぼ外来延べ患者数も同等で、1%程度、伸びています。</p> <p>1日平均外来患者数も、直近で957人となっておりますが、昨年と比べましても若干伸びている状況で、ほぼ同等と見て頂ければ宜しいと思います。</p> <p>「資料3-3」入院収入におきましては、直近12月で、2億6千8百51万円と言う所です。</p> <p>年間を通して見ると、昨年度より増えた所、減った所もございますが、12月は手術件数が少し伸びた事により、入院収入も少し伸びました。</p> <p>入院単価におきましても、直近12月で34,088円と、昨年と比べて、弱冠伸びています。昨年の入院単価の月平均が32,500円ですので、本年度は、それを少し上回っています。</p> <p>入院延べ患者数は、年間を通して伸びた所、落ちた所がありまして、直近の12月は、7,877人です。</p> <p>新入院患者数の月次推移で、直近12月は333人ですが、年間を通して見ると、伸びた所、落ちた所があります。</p> <p>「資料3-4」平均在院日数の直近12月では14.8日と、こちらも年間を通して見てみると、昨年よりも伸びた所と落ちた所があります。</p> <p>手術件数におきましても、12月の直近では148件でした。先ほどもご説明をしました様に、12月は主に眼科の手術が全体の半分を占めますが、手術件数が大きく伸びました。</p> <p>救急車搬送患者数についてですが、年間を通し前年比で毎月20件程度減少した状況下にて救急患者の受入を行っています。</p> <p>本院の説明については、以上です。宜しくお願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。ただ今のご説明に対し、ご意見・ご質問をお受けいたします。</p> <p>はい、小林所長。</p> |
| <p>佐久保健福祉 事務所 小林所長</p> | <p>これは、上田市や東御市の話しなのですが、3-1を見ると、どちらの市の外来も入院も一定程度の割合があります。</p> <p>当初、本院になって今までと少し機能が変わってくる中で、遠方から通ったり、入院したりする割合がもう少し減っても良いと想像もしていましたが、引き続き上田地区から来られる患者さんがそれなりに多い事が読めるかと思われまます。もしかしたら、特殊な診療科が本院にあつて、上田市の医療機関ではカバーが出来ない為に、この様な形になるのかどうか、その辺りの分析なり、ご見</p> |

| | |
|------------------------|--|
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>解があればお聞かせ頂きたいと思います。</p> <p>佐久病院の方からお願いします。特に、眼科については、上田市からかなり来られている様に見受けられますが、その辺りと関係はありませんか。</p> |
| <p>佐久総合病院 伊澤院長</p> | <p>詳細な分析は特に行っていないので明解にお答えできませんが、圧倒的に佐久市・南佐久地区の方が多くと見て頂いた方が良く私は考えています。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>宜しいでしょうか。他にございませんか。</p> <p>無い様ですので次にイ、「佐久総合病院本院増改築第2期工事の平成27年度進捗状況」について、佐久総合病院から、ご説明をお願い致します。</p> |
| <p>佐久総合病院 朔副院長</p> | <p>再構築推進本部長朔です。宜しくお願い致します。</p> <p>「資料3-5」をご案下さい。</p> <p>佐久総合病院本院増改築第2期工事の平成27年度進捗状況です。</p> <p>まず、1. 工事出来高ですが、平成27年12月現在で15.88%と言う所まで来ております。</p> <p>今年度の上半期工事内容についてですが、(1)改修、移転により外来診療の環境向上に資するための工事に関しては、資料記載の①～⑪まで記載が有ります様に、(①皮膚科外来、②南外来、③検体検査室、④心療内科外来、⑤眼科外来、⑥診療放射線科、⑦手術室、⑧人間ドック、⑨ペインクリニック科外来、⑩リハビリテーション部門、⑪透析室)と言う形で改修をかけてきました。</p> <p>(2)北病棟及び旧精神科東病棟解体、7階東西病棟解体に係る工事と致しましては、①地域ケア科及び、②施設課の移転。③新エネルギー棟の建設と言う形で進んでおります。</p> <p>上半期と致しましては、これから北病棟(旧精神科東病棟)の解体を始めてきた所です。その後、跡地に新病棟を整備する計画でおります。</p> <p>「資料3-6」工程表に関してですが、以前、提出したものと変わっていません。今は、上から3段目の③解体工事が始まってきた所です。工事に関しまして、壁を空けてみると耐震壁となっていた等、色々と思ってもよらない事も有り、中々予定通りに行かない部分と、申請等で若干遅れが出た事もあり、北病棟の解体工事の開始が少し遅れています。何とか、増築工事が間に合う様に調整を行っています。</p> <p>その後の工事予定は、工程表にもあります様に、新病棟が出来ましたら、成人病棟改修、7階東西の解体、東側から解体して渡り廊下を作ると言う様な形で、外構工事の予定が平成30年度末迄で工事終了の工程は変わっております。</p> |

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>せん。</p> <p>「資料3-7」をご覧頂きますと、工事手順が記載してございますが、①エネルギー棟新築工事、②既存改修工事までが、終了し、③解体工事に手が付き始めたと言う段階です。その後が④新棟増築、⑤成人病棟改修工事と言う風に建てて行く予定です。以上です。</p> <p>どうも有難うございました。ただ今のご説明につきまして、ご意見・ご質問をお受け致します。</p> <p>無い様ですので、次に議案④「佐久市の医療提供体制に関するアンケート調査について」事務局よりご説明をお願い致します。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>私の方から④「佐久市の医療提供体制に関するアンケート調査」につきましてご説明をさせていただきます。お手元の「資料4-1」「資料4-2」に沿ってご説明をさせていただきます。</p> <p>「資料4-1」今回の調査ですが、「佐久医療センターが開院後1年余りを経過した中で、市内の医療提供体制について、住民の理解度をアンケート調査する事により、直近の市民意識を調査検証し、今後の広報活動や地域医療体制を構築する為のデータとして活用していく事を目的とします」と調査目的をあげています。</p> <p>今回のアンケート調査ですが、2.市内に住所を有する16歳以上の男女1,000人を住民基本台帳から無作為抽出し、郵送により調査を行っております。回答率は、有効回答が450人言う事で、回答率45%でございます。</p> <p>今回のアンケート調査につきましては、平成25年度に実施致しましたアンケート内容と同内容とし、比較、検討をしています。2ページ、3ページにつきましては、調査の《基本属性》についての調査です。</p> <p>設問1性別、男女別の関係、設問2では年齢を調査させて頂いております。やはり、回答については女性が少し多く、また、年齢的には60歳や70歳代の方の回答が多い様な状況でした。</p> <p>3ページは、皆様のお住まいの地区と言う事で、お聞きしています。浅間地区・野沢地区・中込地区・東地区の旧佐久市および、臼田地区・浅科地区・望月地区と言う状況です。今回は、やはり中込地区が少し増え、臼田地区でも回答者数がやや増えてきております。他の所は、少し減っていると言う様な状況で、ご覧の通りです。</p> <p>4ページ、《医療情勢》と言う事で、設問4につきましては、「佐久地域の医療状況を、どのように感じていますか」と言う設問です。前回、下に平成25年度、今回は平成27年度と言う事ですが、一番上に全体と言う事でまとめ</p> |

ています。今回佐久地域の医療状況の全体と致しましては、「安定している」と「やや安定している」の合計が70.5%で、前回の74.2%と比較を致しまして、やや減となっております。また、「厳しい」は2.5%ですが、「やや厳しい」と感じている方は、少し増加してきております。地区別に見てきますと、地区ごとのバラつきは解消している様に見えますが、市全体として、佐久地域の医療は、「やや厳しい状況にある」と言う評価が増えた結果と見ております。

設問5について、設問4で「やや厳しい状況だと思う」「厳しい状況だと思う」と回答をした方に、「何故医療情勢が厳しいと感じたか」を伺い、回答を頂きました。今回は平成27年度129名の方に回答を頂いています。こちらの方で、1番多い回答が「病院の外来診療に制限があるから。予約がないと診てもらえないなど」と言う事が29.5%。続いて「医師不足と言う話しを聞くから」と言う状況です。前回の調査で多かった「受診の際、長い時間待たされたことがあるから」が3番目となっている状況です。

下の四角内にあるその他の意見につきましては、別冊「資料4-2 記入項目別集計表」の1ページ、2ページの所にそれぞれの意見を掲載させて頂いておりますが、「産婦人科」「小児科」「耳鼻咽喉科」などの不足による病院の診療体制への不安、又、救急時での医療機関の対応の遅さや、受け入れを断られる事への不安。中心部と周辺部との医療格差への不安。病院やかかりつけ医で信頼できて相談できる医師が居ない事への不安。等が出ています。

「資料4-1 3ページ 設問3」へ遡り訂正へ。

今回、中込地区が5.5%増、臼田地区が3.7%増、浅間地区が微増、と有りますが、臼田地区につきましては、3.7%減でございます。資料の訂正をお願い致します。

6ページ、《医療機関の役割分担について》ですが、設問6「医療の高度化・専門化が進む中で医療の安定化を図るために、医療機関は明確な役割分担により医療提供を行い、患者さんも症状により医療機関を選んで頂くことが必要となってきますが、こうした状況にあることをご存知ですか」と言う設問です。

今回、「医療機関の役割分担」又、「患者は症状により医療機関を選ぶ必要がある」ことについて、「良く知っている」と言う方が5.4%増、「だいたい知っている」が、2.4%増で、合計すると70.6%の方が、「良く知っている」「だいたい知っている」と回答されており、前回の62.8%よりも増え、約7割の方々が承知されていると言う結果です。

7ページ、設問7「現在かかりつけ医をお持ちですか」と言う問です。

一番上の合計欄を見て頂きますと、「かかりつけ医の医師はいない」と回答された方が43.2%と前回の45.6%と比較致しまして、やや少なくなはなってきたておりますが、依然として約半数を占める方が「かかりつけの先生」は居ないと回答をされています。

年代別でその下に掲載をしていますが、20代から50代の働き盛りの方の約6割が「かかりつけの医師がいらない」と回答をしています。

8ページ、設問7で「かかりつけの医師はいない」と回答された方にかかりつけの医師が居ない理由について伺いました。こちらは、前回と比較して「あまり病気をしないから」と言う方が少し減っておりますが、「病状によって各々医療機関を選んだ方がよいと思うから」が少し増えてきております。又、その他の意見ですが、先ほどの「資料4-2 記入項目別集計表」3ページ目に記載が有りますように、「どこをかかりつけ医としたら良いか分からない」「熱心に診てくれる医師がいない」「長時間待たされて診療時間も短く病状などを相談できる雰囲気ではない」等のご意見を頂いています。

9ページ、《佐久総合病院再構築》についてですが、「佐久医療センターが紹介型の病院であることを知っているか」と言う問いです。前回と比較して「よく知っている」「だいたい知っている」方が大分増えており、約9割の方が病院の機能として医療センターの状況を承知されていると言う状況です。

10ページ、「佐久医療センターへ紹介状を持たない患者さんが来院された際には、病状を見極めた上で、適切な医療機関を紹介されることになるが、このことを知っていますか」と言う問いです。こちらにつきましては、前回と比較して、「良く知っている」「だいたい知っている」と言う方が56.4%で、12%ほど増となっておりますが、やはり、依然として半数近くの方が未だ承知をされていないと言う状況が分かっています。

11ページ、「かかりつけ医からの紹介状を持たずに佐久医療センターを受診した場合は、初診時保険外併用療養費が別途加算されることを知っていますか」と言う問いです。こちらは、前回と比較をして「良く知っている」「だいたい知っている」と言う方が増えてきていますが、こちらも半数近くの方が「あまり知らない」「全く知らない」と回答をしています。

12ページ、設問9「佐久医療センターが紹介型の病院である事を知っていますか」との回答に対して、設問11の「かかりつけ医からの紹介状を持たずに佐久医療センターを受診した場合の初診時保険外併用療養費が別途加算されることを知っていますか」を掛け合わせた表です。こちらは、紹介型の病院である事を知っている方について、68%の方が初診時の保険外併用療養費が加算される事を知っていますが、やはり、「あまり知らない」「全く知らない」と答えた方は、加算についても知らない方が多い状況でした。

13ページ、設問12「佐久医療センターと臼田の佐久総合病院本院に分かれて医療提供が行われていますが、それぞれの病院で具体的にどのような診療が行われているかをご存知でしょうか」と言うものです。「よく知っている」「だいたい知っている」と答えた方の合計が39%と、前回と比較して少し増となっていますが、やはり、「あまり知らない」「全く知らない」を含め、約6割の方が承知されていない状況です。

14ページ、設問9「佐久医療センターが紹介型の病院である事を知っていますか」と言う問いに対して、「医療センターと佐久総合病院本院に分かれてのそれぞれの診療科、どのような診療が行われているかご存知ですか」の問いを掛け合わせたものです。この下の横棒グラフを見て頂きますと、紹介型の病院である事を知っている方は、その機能も知っている方が多く、依然として、「あまり知らない」「全く知らない」と言う方もいらっしゃいます。そして、紹介型病院である事を全く知らない方に対しましては、「よく知っている」「だいたい知っている」と言う方が大変少ない状況となっています。

15ページ、こちらは市の方でまとめて考察をしたものですが、平成25年11月に実施をしたアンケート調査と比較をしますと、佐久地域の医療状況につきましても、医師不足から厳しいと感じている市民が多く、病院の外来診療に制限があることも厳しいと感じている市民がいます。又、医療機関の役割分担につきましても、その必要性を理解している方は7割である一方、かかりつけ医を持たない方が、働き盛りの20代～50代の約6割に上ると言う事で、医療機関との繋がりが希薄で、病状によって医療機関を選んだ方が良いと思うなどの傾向が強いほど、かかりつけ医の必要性への関心が薄いことが伺えます。

佐久総合病院再構築につきましても、「佐久医療センターが紹介型の病院である」ことについて、「よく知っている」「だいたい知っている」と回答された方が約9割を超えており、市民への周知が図られていると思います。「紹介状を持たない患者さんを適切な医療機関を紹介する」事につきましても、やはり、「よく知っている」「だいたい知っている」と回答した方は増加しているものの、依然として半数近くの方が承知されていない。又、初診時保険外併用療養費が追加加算される事につきましても、約半数の方が承知されていないという状況でした。

佐久医療センターと佐久総合病院本院の診療科につきましても、「全く知らない」「あまり知らない」と言う方が、前は8割いらっしゃいました。それよりも減ってはいますが、「全く知らない」「あまり知らない」と回答された方が多いと言う状況です。

今回のまとめの中で、医療センターの役割、かかりつけ医の問題、地域での

| | |
|--------------------------------|--|
| | <p>医療体制への周知と市民の皆様から多くのご意見を頂いています。それぞれの機関がそれぞれの役割の中で課題解決に向けて取り組んで行かなければならない。と言う課題があると考えています。又、今後は、この様なアンケート結果を踏まえて、それぞれの役割の中で取り組んで行く必要があると考えています。そして、最後になりますが、「資料4-2 記入項目別集計表」の3枚目以降につきましては、設問13で「その他の意見等」と言う事で、自由に記載して頂く項目を設けており、その他の意見として、①医療体制への意見・要望、②医師・医療従事者への意見・要望、③医師・診療科不足への意見・要望、④医療の地域格差への意見・要望、⑤救急搬送・急患受入機関への意見・要望、⑥医療制度・医療費等への意見・要望、⑦医療情報提供への意見・要望、と様々なご意見を頂いています。後ろの、⑧現在の医療体制への取組の継続と拡充等についても様々な意見を頂いており、こちらは多い意見と言う事では無く、自由に書いて頂いた意見を記載させて頂いています。お目を通して頂き、今後、ご検討をして頂ければと考えております。私からの説明は以上でございます。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>ただ今のご説明に関しまして、ご意見、ご質問をお受け致します。こちらの個別の意見と言うのは前もって委員の方に配布したものでしょうか。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>委員の方々には事前にお渡ししてあります。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>他に何かご意見でも構いませんし、質問等ございませんか。</p> |
| <p>長野県 医療推進課 熊谷企画幹</p> | <p>設問12(内訳)の横棒グラフデータ「医療センターが紹介型の病院であると、よく知っている～全く知らないまで」と「どのような診療が行われているかを、よく知っている～全く知らないまで」がクロスしている表でございますが、「紹介型の病院であるとだいたい知っている」のに対し、「どのような診療が行われているか知っている」方が26%しかいなくて、「紹介型の病院である事をあまり知らない」と答えている方が、どのような診療が行われているかを50%以上が知っている、何となく逆転している様に見受けられるのですが。如何でしょうか。「よく知っている」と両極端な方面については、しっかりとその内容が可能性としてあると思うのですが。</p> |

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>どうでしょうか。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>細かい分析等が少ないと思われるかもしれませんが、「佐久医療センターが紹介型の病院である」とこちらの「だいたい知っている」と「あまり知らない」の所ですね。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>紹介型の病院であることを「だいたい知っている」方が、「佐久病院と医療センターでどのような診療が行われているか」と言う形ですが、おおまかな中で、「医療センターが紹介型の病院である」と言う事は、ほぼ知っていると言う方はあるのですが、中々その細部につきまして、十分に理解をされていない方なのではないかと、こちらの方では感じた訳で、こちらに関しては少し分析をして行かなくてははいけないと考えております。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>宜しいでしょうか。他に何かございますか。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>あと、私の方からですと、「かかりつけ医」と言う事について、そもそも病気をしないから「かかりつけ医」が無いと言う方が20代～40代の方が多いと思うのですが、例えば、風邪で2年に1回同じ開業医に掛かるなど、それも「かかりつけ医」の様な気がするのです。</p> <p>恐らく、アンケート回答者の方々は、高血圧などの慢性病があつて、2～3ヶ月に1回とか、毎月1回とか定期的に受診されている方が「かかりつけ医」と言う様に認識しているのではないかと思います。</p> <p>その辺のご意見はどうでしょうか。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>「かかりつけ医」をどの様に捉えるかと言う事で、こちらのアンケートを差上げた時に、「かかりつけ医はいますか」との問いと回答になったかと思えます。そして、こちらの設問等を自由に見て頂く中では、「資料4-2 記入項目別集計表」3ページ目の回答として、「かかりつけ医が居ない」と言う理由の中で、「元々、自分の事を良く分かってくれる先生が居ない」「本当に今まで近くの佐久総合病院しか行かなかった」と言った様なご意見を頂いています。</p> <p>やはり、こちらにつきましては、「かかりつけ医」と言うものが、どの様な形を目指して行くのか、どの様な方を「かかりつけ医」とするのか、と言う事を、今後も市民の皆様様に周知をして行かなければならないと感じております。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>「かかりつけ医」をどの様に捉えるかと言う事で、こちらのアンケートを差上げた時に、「かかりつけ医はいますか」との問いと回答になったかと思えます。そして、こちらの設問等を自由に見て頂く中では、「資料4-2 記入項目別集計表」3ページ目の回答として、「かかりつけ医が居ない」と言う理由の中で、「元々、自分の事を良く分かってくれる先生が居ない」「本当に今まで近くの佐久総合病院しか行かなかった」と言った様なご意見を頂いています。</p> <p>やはり、こちらにつきましては、「かかりつけ医」と言うものが、どの様な形を目指して行くのか、どの様な方を「かかりつけ医」とするのか、と言う事を、今後も市民の皆様様に周知をして行かなければならないと感じております。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>「かかりつけ医」をどの様に捉えるかと言う事で、こちらのアンケートを差上げた時に、「かかりつけ医はいますか」との問いと回答になったかと思えます。そして、こちらの設問等を自由に見て頂く中では、「資料4-2 記入項目別集計表」3ページ目の回答として、「かかりつけ医が居ない」と言う理由の中で、「元々、自分の事を良く分かってくれる先生が居ない」「本当に今まで近くの佐久総合病院しか行かなかった」と言った様なご意見を頂いています。</p> <p>やはり、こちらにつきましては、「かかりつけ医」と言うものが、どの様な形を目指して行くのか、どの様な方を「かかりつけ医」とするのか、と言う事を、今後も市民の皆様様に周知をして行かなければならないと感じております。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>「かかりつけ医」をどの様に捉えるかと言う事で、こちらのアンケートを差上げた時に、「かかりつけ医はいますか」との問いと回答になったかと思えます。そして、こちらの設問等を自由に見て頂く中では、「資料4-2 記入項目別集計表」3ページ目の回答として、「かかりつけ医が居ない」と言う理由の中で、「元々、自分の事を良く分かってくれる先生が居ない」「本当に今まで近くの佐久総合病院しか行かなかった」と言った様なご意見を頂いています。</p> <p>やはり、こちらにつきましては、「かかりつけ医」と言うものが、どの様な形を目指して行くのか、どの様な方を「かかりつけ医」とするのか、と言う事を、今後も市民の皆様様に周知をして行かなければならないと感じております。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。他に何かございますか。</p> <p>無い様ですので、ただ今、事務局より「佐久市の医療提供体制に関するアン</p> |

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>ケート調査」の説明が有りましたが、この結果をそれぞれのお立場でご考察頂き、今後の地域完結型医療推進のための検討材料として活用をして参りたいと考えております。</p> <p>それでは次に、議案⑤「その他」でございますが、まず、ア.「佐久市医療体制等連絡懇話会の今後の在り方について」事務局からご説明をお願いします。</p> <p>それでは、私の方から佐久市医療体制等連絡懇話会の在り方について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>お手元の資料「資料5-1」「資料5-2」「資料5-3」「資料5-4」と言う事で、こちらの資料に沿いましてご説明をさせていただきます。</p> <p>始めに、「資料5-1」佐久市医療体制等連絡懇話会の規約でございます。</p> <p>本懇話会でございますが、「2.目的の中で、次の事項について協議するものとする」となっております。</p> <p>(1) 佐久総合病院再構築に係る医療体制等協定書において、懇話会の役割として記された事項</p> <p>(2) 地域医療連携に関する事項</p> <p>(3) その他地域医療の充実に必要な事項</p> <p>と、言う様になっています。</p> <p>「資料5-2」佐久市医療体制等連絡懇話会幹事会規約でございます。</p> <p>こちらに関しては、佐久総合病院の再構築の進捗状況に関する協議及び、佐久市医療体制等連絡懇話会において、協議する事項についての事前調整を行う事を目的として佐久市医療体制等連絡懇話会幹事会が設置されております。</p> <p>佐久総合病院再構築に係る医療体制等の協定書につきましては、「資料5-3」にお示しを致しました。</p> <p>第1条(目的)の中で、基幹医療センター(現:佐久医療センター)と、地域医療センター(現:佐久総合病院本院)の整備により変化する地域の医療体制に対応するため、それぞれが有する医療機能を相互に効果的に発揮しながら医療連携することにより、地域完結型の安定的な医療供給体制の構築と地域住民の健康維持増進に寄与することを目的とすると言う事で、こちらの協定書の中にごございます、佐久医師会・浅間総合病院・佐久総合病院がそれぞれに行っていく事が目的とされています。</p> <p>第4条第2項に示されております通り、(厳密には、第3条第1項及び、第4条第2項及び、第5条第2項を抜粋)地域における安定的な医療供給に資する為、又は(仮称)基幹医療センター(現:佐久医療センター)が前条の規定に基づいて、地域医療支援病院として機能する為の連携を実行性あるものとす</p> |
|-------------------------------|--|

る為に、佐久市の設置する佐久市医療体制等連絡懇話会において、連携の実績その他必要な事項について報告するとなっています。又、再構築計画による施設整備に関しましては、佐久総合病院本院の運営基本計画の策定変更等に関しましては、懇話会において、内容を説明し、懇話会の意見を最大限尊重すると共に地元説明会を開催する等、地元の理解を得るよう努めるものとする。と示されておりまして、協定書に基づき懇話会の運営も行われてきております。

佐久総合病院再構築の完成時期については、「資料5-4」佐久市と長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院再構築に関する覚書の第6条（開設時期等）第1項、佐久総合病院の再構築は、基幹医療センター（現：佐久市医療センター）及び地域医療センター（現：佐久総合病院本院）がそれぞれ建設され、開設されることにより完成するものとする。とあり、基幹医療センター（現：佐久市医療センター）にあたっては平成25年度内、地域医療センター（現：佐久総合病院本院）にあたっては平成28年度内を目標に開設するものとする。とされておりまして、

佐久総合病院の再構築につきましては、先ほどの議案の中で、佐久医療センターから説明がございました通り、協定書の主義の目的の一つでもある佐久医療センターが佐久地域医療支援病院の承認を受けております。また、少し工期延長の話もございましたが、平成28年度末には佐久総合病院本院が完成する予定の説明も頂いております。佐久総合病院本院が完成する事で、再構築につきましては、一旦、完了となりますが、「地域完結型の安定した医療体制の構築」「地域住民の健康増進に寄与する」と言う目的の達成がされたかどうかの確認、検証等も必要ではないかと考えております。

今後でございますが、佐久市の医療体制等連絡懇話会については、懇話会の目的、構成する組織、対応内容等、今後の在り方につきまして幹事会等を通じて関係する皆様に意見を伺って、今後も検討して行きたいと考えております。説明は以上でございます。

佐久医師会
多田会長

有難うございました。ただ今の説明の通り、今後の懇話会の検討課題とさせていただきますので本件はご承知置き下さい。

次にイ。「その他」でございますが、長野県の方から、本日の協議にご参加頂いてのご意見や、最近の医療情勢などについて、お話しを頂ければと思いますので宜しくお願い致します。

長野県
医療推進課
熊谷企画幹

長野県医療推進課：熊谷企画幹

長野県健康福祉部医療推進課企画幹の熊谷健吉と申します。

佐久総合病院と佐久医療センターの実績等を拝見させて頂きまして、医療体

制の機能分化が進んで非常に順調であると思います。

地域支援病院につきましては、先般6月に承認いたしまして、その後も順調に進んでおり、地域に貢献する病院として機能していただいていることに、感謝する次第でございます。

今までの議事につきましては、そういうことでございますが、お手元の方に、参考として資料を配布させていただきました。横長1枚の資料でございます。簡単に説明させて頂ければと思います。

「長野県地域医療構想・第7次長野県保健医療計画策定スケジュール」という事で本日の会議の趣旨とは若干異なると思いますが、参考にとりまして、30年度迄の、主だった所のスケジュールについて、お示しさせていただきました。

まず、一番上の欄に医療計画という事で、現在第6次保健医療計画と致しまして、29年度迄の5年間の計画として動いている所でございます。

そして、その下の地域医療構想でございますが、2025年に団塊世代の方々が、75歳以上になると、現在の医療提供体制では、対応出来ないという事で、今から医療制度改革を進めている所でございます。

地域医療構想、これは、圏域ごとに策定するものでございますけれども、先般、医療審議会の下に、地域医療構想策定委員会を部会として設けまして、昨日あたりから、各二次医療圏に置きましては、地域医療構想調整会議等で議論いただきまして、ご意見を頂戴しながら県の策定委員会、医療審議会を経て、28年度を目途に、地域医療構想を策定する予定です。

これにつきましては、医療計画の一部という位置づけでございますので、現在の第6次保健医療計画に追記する形となります。

そして、現在、第6次保健医療計画が進められておりますが、30年度からは、第7次保健医療計画が始まるという事でございますので、来年度の後半には第7次保健医療計画の策定について検討が行われると言う様な次第でございます。

次に、下から2番目の高齢者プランですが、これは介護保険の事業計画でございます。

現在、こちら第6期の高齢者プランが29年度まで進められるという事でございますので、30年度になりますと、医療計画と介護計画が同時にスタートしますので、医療と介護の連携、総合的な確保、ここをきちんと整合させる事を見据えて28年度、29年度と計画を立てて行くという事でございます。

こうした地域医療構想、医療計画の策定を進めていく中で、皆様のご理解とご協力をいただくこととなりますので、何卒、宜しくお願い致します。以上、参考まで、お示しさせていただきました。有難うございました。

佐久医師会
多田会長

有難うございました。他の皆様から地域医療の在り方等について、全体を通して、ご意見、ご質問などが有ればお伺いします。

佐久市保健
福祉事務所
小林所長

前の議題に戻って幾つかお話をしたいと思います。

「資料４－１」アンケート調査報告書について、非常に貴重なデータと言う事で、私も内容的には注目をしたいと思うのですが、もし、これからまたこの様なアンケートを取るのであれば、参考になればと言う事で幾つかお話をしたいと思います。

最初に４ページ、設問４「地域の医療状況を、どの様に感じているか」と言う事で、この赤い所（安定している・やや安定している）が、大体７割近くあって、黒い所（やや厳しい・厳しい）が３割と言う事です。この、黒い所については裏面で、どの様な所に課題があるのかと言う事を聞いている訳ですが、裏を返すと、７割位の人からそれなりにポジティブな評価を頂いているので、ポジティブな評価の理由を聞くと、佐久の地域医療の良い面と言うか、その様な所が少し明らかになって、特に医療を提供している側からすれば、非常に力を入れる様なデータが出てくるのではないかと思いますので、今回はプラスの評価をして頂くと良いのではないかと思います。

それから６ページ、設問６について、誤解を招く表現なのですが、７ページの「かかりつけ医をお持ちですか」との問いに対して、かかりつけ医の先生とは、何かあった時に、基本的には、まず、そこに掛かってと言うのが定義だと思います。

設問６の２行目に、「患者さんも症状により医療機関を選んでいただくことが必要になってきます」との記載があります。

この表現に対して、少し細かい話となってしまいますが、むしろ、かかりつけ医ではなくて、自分は、今回こちらに行こうか、あちらに行こうかと、かかりつけ医の概念とは、むしろ逆なのではないかと思います。

市民がこれを何処まで理解して記入してきているのかは分かりかねますが、医療機関の役割分担とすれば、患者さんが選ぶと言うよりは、まず、かかりつけ医に掛かって、それから必要な医療機関に行く様になると、その様な明確な表現にして頂いた方が良いのではないかと思います。もし、次回もアンケート調査を行うのであれば、この点につきましてもご検討をして頂きたいと思います。

そして、１０ページ、紹介状について記載があります。その前の設問で「紹介型の病院」は紹介状が無いと駄目とか、紹介状が無いとお金を取られるとか、紹介状を持たない場合は、何処か他の病院を紹介されると記載があり、それは、

| | |
|---------------------------------------|--|
| <p>佐久医療センター 渡辺院長</p> <p>佐久市保健</p> | <p>大事な事ではあるのですが、「紹介型の病院」で大事な所は、「逆紹介」があるという事で、佐久医療センターに辿りついて、そこで一定の治療が終われば、元の病院や、近い病院など、また他の医療機関に戻されると言う事も住民が理解をしていなければいけないと思います。やはり、この自由記載の文章を読みますと、「ずっと佐久医療センターで診て欲しい」等の記載もありますので、「逆紹介」もあると言う事を、この設問などに入れて頂かないといけないと思いますので、この様なアンケートを作る時には、市民に医療体制の知識を身に付けて貰う様な形で、設問なりを考えて頂くのが良いのではないかと思います。参考になればと思います。</p> <p>もう一点は、質問なのですが、「資料2-1」で地域医療支援病院の話がありまして、「資料2-3」の表は本当に分かり易くて有難いと思います。私がお聞きしたいのは、「資料2-6」に患者さんの相談窓口の件数や分類が書いてあります。</p> <p>実は、小児救急の関係も結構この地域にとっては1つの大きな問題として、以前から医師会の先生方や、医療機関の方々と色々と話しがある所なのですが、1つお聞きしているのは、佐久医療センターに、小児科の先生がいらっしゃるのので色々な救急を受けて頂いていますが、住民の方々が直接受診するだけでは無く、電話で子供の病状により、どの様にすべきか電話の問い合わせがあります。</p> <p>直ちに病院での受診を勧める場合や、様子を見る様に案内する場合等、すぐに解決する様な相談であれば、それほど問題は無いかもしれませんが、医療センターの方々に伺うと、親からの電話と言うのは、結構長く、今、目の前にある腹痛と発熱の問題だけでは無く、普段の育児の心配等についても話しがあり、30分などのオーダーで時間がかかる様な、受診相談と称する電話がかかってくると良くお聞きしました。</p> <p>多くは看護師が対応をしている様ではありますが、その様な相談はこの表に反映がされているのかを、まず、お聞きしたいと思います。</p> <p>相談窓口の集計で救急医療の件は、ここには含まれておりません。一月、400件とか500件位の相談が救急にありまして、半分位が小児科です。小児科での電話対応について、病院の方でも検討中で、誰が受けて誰が応えるのか、或いは他の医療機関を紹介するのはどうなのか等、「#8000」の使い方に対して、どの様にしていくかを考えています。但し、夜間で小児科医やそこ専門の、と言う所では医療センターにかかって来る事が多いとは思っています。</p> <p>有難うございます。ここからは私の意見なのですが、この表に載らないとす</p> |
|---------------------------------------|--|

福祉事務所
小林所長

れば、この表で無くても良いと思うのですが、是非、救急の電話相談に、特に小児救急は親にとって非常に重要性のある相談だとは思っているのですが、片方で病院の業務を圧迫していると言う事も理解できます。

今日は「佐久市」の会議ですので、敢えて申し上げますと、恐らく病院が受けている救急の相談電話と言うのは、かなり医療的な面も強いと言う事はあると思うのですが、「#8000（小児救急電話相談）」に近いような、或いは、もう少し手前の育児相談的な事が多い様にお聞きしています。

これは多分、医療センターや佐久病院グループだけに、そのままお願いをして行くと言うよりは、少し行政的な対応が必要なのではないかと考えています。

本日は、長野県医療推進課の企画幹も出席されていると言う事で、「#8000」自体は県の業務として行っている為、県の役割でもあると考えています。恐らく、佐久市の住民は、「#8000」の電話対応場所は知らないと思います。公表もされていませんし、実際には、松本市にある為か、やはり、遣り取りがかなり遠い感じが致します。住民からすると、実際には「あそこの病院の」と言うイメージで、佐久医療センターにかけてきている可能性が高いので、そこを「#8000」へ誘導する努力は、勿論、我々もしなくてははいけません。もし、佐久地域にその様な需要があるとすれば、一つの病院の問題では無く、地域や特に行政の問題として考えていかなくてはいけないのではないかと考えています。特別佐久市だけに、と言うつもりは無いのですが、中心になって行っている所でもありますし、本日はその会議でもある為、敢えてその様な問題を皆様で認識をして行きながら、そこの辺りをどの様にして行くかを、それぞれに考えながら、上手い方向を見出して行ければ良いのではないかと考えています。

その様な事を考えた上でも、佐久医療センターに負担をかけてしまうかもしれませんが、大体の件数や内容等の基礎的なデータを少し出して頂ければ、また地域の問題として皆様で検討が出来るのではないかと考えていますので、その所をお願い出来れば有り難いと思っています。

佐久医師会
多田会長

はい。どうも有難うございました。小児救急の方は医師会の小児救急検討委員会で検討をしております。そこでも医師会として、佐久市の方に窓口の様なものを正式に依頼をするか、検討をしている所でもあります。一番大事な事でもある為、今後の重要な課題になると思います。

その他に、何かありますでしょうか。

無い様ですので、先日の軽井沢におけるバス事故では、佐久医療センター・浅間総合病院・金澤病院・くろさわ病院において、迅速で適切な対応をして頂き、この場をお借りして、深く御礼を申し上げます。

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>事務局 (佐久市 工藤課長)</p> | <p>最後に事務局から次回の予定についてお願いしたいと思います。</p> <p>次回の懇談会の予定について申し上げます。</p> <p>先ほど議案の方で説明をさせて頂きましたが、今後の懇話会の在り方について、皆様方からご意見を賜る中で、幹事会等で協議をさせて頂いた後に、また懇話会に図らせて頂きたいと言う風に考えております。</p> <p>また、今回の会議録は編集が出来次第、会議録署名人の皆様へご送付等をさせて頂きますので宜しくお願い致します。</p> |
| <p>佐久医師会 多田会長</p> | <p>有難うございました。本日予定されておりました議題は、全て終了致しました。皆様のご協力に感謝を申し上げます。それでは議長の任を解かせて頂きます。</p> |
| <p>事務局 (佐久市 比田井部長)</p> | <p>多田会長、有難うございました。</p> <p>本日ご出席の皆様のおかれましては、長い時間に渡りまして、ご意見、貴重なご提案等を賜りまして、誠に有難うございました。</p> <p>以上を持ちまして、第11回の佐久市医療体制等連絡懇話会の会議を終了とさせて頂きます。大変お疲れ様でした。</p> |

会議録署名人

熊谷 健吉

小松 五郎